

CEL 英語ソリューションズ 2006年

通訳ガイド コース

1次筆記試験II **日本歴史** 集中コース

Study Guide

Session **3**

スタディ・ガイド



Information 学習の進め方とスケジュール

毎週の学習の進め方

1 予習(約2時間)

『日本歴史 基本事項ハンドブック《演習編》』を用いて下記 予習範囲 について左ページ「日本史概説」を読みましょう。太字下線部は暗記してください。

右ページ「日本史演習」の空所が言えるようになるまで記憶しましょう。年表についても空白年代を左ページで確認しながら記憶しましょう。

意味が分かりにくい部分があれば、参考書の『図説日本史』を用いて確認しておきましょう。

2 授業(2時間) 授業には『図説日本史』を必ず持参してください。

Quizzes で前回の復習をします(約5分、初回のみオリエンテーション)。

Overview で今日の授業の概観を確認します(約5分)。

Study で今日の授業のポイントを解説します(約75～100分)。

Session 5, 9, 13では授業のまとめとして**Exam**を**Quizzes**の後にいきます(試験時間15分、解説約10分)。

3 復習(約2時間)

『図説日本史』を用いて**Study Guide**の**Study**部分を復習して理解を深めてください。『図説日本史』では④で示したページを参照してください。

Study Guide巻末の**Review**の空所が言えるようになれば万全です。

Examの前の週には、下記 Exam範囲 にしたがって、授業ならびに**Study Guide**の復習を行ってください。

その他、適宜、**Quizzes**および**Exam**の答え『日本歴史 基本事項ハンドブック』や『日本歴史 基本事項ハンドブック《演習編》』を用いて知識の確認をしておきましょう。

学習スケジュール

授業No.	予習範囲	Exam有無	Exam範囲
Session 1	P. 4-5 縄文・弥生・古墳時代	----	
Session 2	P. 6-7 飛鳥時代～大化の改新	----	
今回 Session 3	P. 8-11 奈良時代	----	
Session 4	P. 12-15 平安時代	----	
Session 5	P. 16-19 鎌倉時代		Session 1-4
Session 6	P. 20-23 室町時代	----	
Session 7	P. 24-27 安土桃山時代	----	
Session 8	P. 28-33 江戸時代	----	
Session 9	P. 34-37 欧米の動向		Session 6-8
Session 10	P. 38-43 幕末～明治維新 1	----	
Session 11	P. 44-49 幕末～明治維新 2	----	
Session 12	P. 50-53 大正～昭和時代 1	----	
Session 13	P. 54-55 大正～昭和時代 2		Session 1-12

Quizzes**復習・予習確認クイズ****復習確認クイズ**

1. 4世紀に倭が高句麗と交戦したという記録を伝えるのは何か。(難)
2. 倭の五王の武、ならびに埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣銘にあるワカタケル大王とはどの天皇のことか。(難)
3. 高句麗から渡来して絵具・紙・墨などの製法を伝えたのは誰か。
4. 527年に筑紫で乱を起こした国造は誰か。
5. 遣隋使・遣唐使として留学し、後に大化の改新で国博士として活躍した人物を2人挙げよ。(難)
6. 法隆寺金銅釈迦三尊像を製作した仏師は誰か。
7. 670年に作製された最初の戸籍を何というか。
8. 壬申の乱で敗北した天智天皇の子は誰か。
9. 藤原京に遷都した天武天皇の皇后は誰か。
10. 西域の影響を見せる白鳳時代の仏画だが、惜しくも1949年の火災でほとんどを焼失したのは何か。(難)

予習確認クイズ

11. 唐にならって701年に制定された法体系は何か。
12. 奈良時代に九州の筑前国に置かれた地方官庁を何というか。
13. 班田収授法のもとで、人民に課された税を3種挙げよ。
14. 人民に高利の稲を強制的に貸し付ける制度を何というか。
15. 743年に出された土地の永久私有を認める法は何か。
16. 国分寺と国分尼寺をつくらせた天皇は誰か。
17. 渡航に失敗を重ね、盲目になりながらも来日した唐の僧は誰か。
18. 天平文化時代に作られた和歌集は何か。
19. 奈良時代に成立した歴史書(記紀神話)を2つ挙げよ。
20. 奈良時代に作製された、国ごとの産物や歴史を記した書は何か。

Answers

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. 好太王碑文 | 2. 雄略天皇 | 3. 曇徴 |
| 4. 磐井 | 5. 旻と高向玄理 | 6. 鞍作鳥 |
| 7. 庚午年籍 | 8. 大友皇子 | 9. 持統天皇 |
| 10. 法隆寺金堂壁画 | 11. 大宝律令 | 12. 大宰府 |
| 13. 租庸調 | 14. 出挙 | 15. 墾田永年私財法 |
| 16. 聖武天皇 | 17. 鑑真 | 18. 万葉集 |
| 19. 古事記と日本書紀 | 20. 風土記 | |

Overview

奈良時代 (8世紀)

ハンドブック年表.....

《年表》

701	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大宝律令が制定される
708	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和同開珎などの銭貨が作られる
710	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平城京遷都:唐の長安を手本にした都(794年までを奈良時代という) <p>中央に二官八省、地方には国司と郡司、九州には大宰府 班田収授法:6歳以上の人々に口分田が与えられ、死ねば国に返させる</p> <p>税や兵役:租(稲)・庸(布など)・調(特産物)・防人・出拳</p>
743	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墾田永年私財法 公地公民の否定、荘園の始まり ・ 聖武天皇が近江国紫香楽宮にて大仏造立の詔を発する <p>大仏開眼供養会(752)</p> <p><仏教を国策とした天平文化の発達></p> <p>僧侶の政治介入が顕著になる</p>


今日の授業の概観

- 700 **1** 律令体制の成立(7世紀末期～8世紀初期) P.6
たいほうりつりょう
 大宝律令の制定(701) ■ P.45-48
 大宝律令の完成と畿内・七道の行政区分の成立によって、律令国家の統治の仕組みが整った。
- 710 けんとうし へいじょうきょう せんとう
 遣唐使と平城京遷都(710) ■ P.52-55
 遣唐使(630～894)が唐の制度や文化を日本に伝えた。政府はふじわらきょう藤原京から奈良盆地北端の平城京に遷都し、中央集権体制を整えた。
- 2** 奈良時代前半(8世紀前期～中期) P.8
ふじわらし
 藤原氏と皇族の政権争い ■ P.54
ふじわらのふひと こうみょうし しやうむ こうごう
 藤原不比等の娘、光明子が聖武天皇の皇后となり、藤原氏が勢力を増す中で、藤原氏・皇族間での政権争いが展開された。
- 730 土地制度の変遷 ■ P.54
くぶんてん
 逃亡する農民の増加と口分田の不足に対応して、政府は一定条件の下に土地の私有化を認めたが、そのために初期荘園しやうえんが発生した。
- 3** 奈良時代後半(8世紀中期～後期) P.10
てんびやう
 国家仏教と天平文化 ■ P.56-60
 仏教が国策として保護される中で、高度な建築技術や新たな仏像作製技術に根ざした天平文化が発達した。
- 750 僧侶の政治介入とその後 ■ P.54-55
 760 数多くの寺院の建設による財政難で国民の負担は増大する一方、勢力を得た僧侶の政治介入で国政は乱れていき、改革が必要になった。
 780

Study

1 律令体制の成立 (7世紀末期～8世紀初期)

今日の授業のポイント

大宝律令の制定(701)  P. 45-48

701年に刑部親王^{おさかべしんのう}や藤原不比等^{ふじわらのふひと}らによって大宝律令^{たいほうりつりょう}*1が完成し、律令制度による政治の仕組みが整った。律は刑法、令は行政法・訴訟法などに相当する。


中央行政組織には神祇官^{じんぎかん}・太政官^{だいじょうかん}*2の二官があり、太政官のもとで八省^{はっしょう}*3が政務を分担した。行政の運営は有力諸氏から任命された太政大臣^{だいじょうだいじん}・左大臣^{さだいじん}・右大臣^{うだいじん}・大納言^{だいなごん}などの太政官の公卿^{くぎょう}の合議によって進められた。

全国は畿内^{きない}*4・七道^{しちどう}*5に行政区分され、国^{こく}・郡^{ぐん}・里^り(のちに郷^{ごう}と改称)がおかれて、国司^{こくし}・郡司^{ぐんじ}*6・里長^{りちやう}が任じられた。京には左^さ・右^{みぎ}京職^{きやうしき}、難波^{なにわ}には摂津職^{せつしき}、九州北部には大宰府^{だざいふ}*7がおかれ、多数の官吏が勤務した。官吏は位階に応じて官職^{くわんしやく}に任じられ(官位相当制^{くわんいそうとうせい})、位階^{いがい}・官職^{くわんしやく}に応じて優遇されて負担は免除された。

6年ごとに作られる戸籍^{こせき}にもとづいて6歳以上の男女^{くふんでん}に口分田^{くちぶんでん}を分け与え死ねば返させる班田収授法^{はんてんしゅうじゆほう}が定められた。その一方で租^そ(収穫した稲の3%)、庸^{おん}(成年男子に布で納めさせた)、調^{てう}(地方の特産物)、雑徭^{ざつりやう}(国司のもとで年間60日以内の労働を行う)などの重い税や負担を課し、高利で稲を強制的に貸し付ける出拳^{しゅけん}も行われた。また九州の防備のための防人^{ぼうにん}という兵役もあった。

Notes

- *1 現存しないが、養老令の注釈書^{ようろうりつりょう}「令集解^{りやうしゅうのげ}」などによりその一部が知られる。
- *2 神祇官は神々の祭りをつかさどり、太政官は行政全般を管轄した。
- *3 中務^{なかつかさ}・式部^{しきぶ}・治部^{しぶ}・民部^{みんぶ}・兵部^{ひやうぶ}・刑部^{ぎやうぶ}・大蔵^{おおくら}・宮内の各省^{くわい}。
- *4 山背(山城)^{やましろ}・大和^{やまと}・河内^{かわち}・摂津^{せつ}の四か国をいい、四畿内と呼ばれた。のち、河内から和泉が分立し五畿内となる。律令国家を形成した諸氏族の居住地域を行政上特別扱いたしたもの。
- *5 律令制下の地方行政区画で東海道^{とうかいどう}・東山道^{とうさんどう}・北陸道^{ほくりくどう}・山陰道^{さんいんどう}・山陽道^{さんやうどう}・南海道^{なんかいどう}・西海道^{さいかいどう}をいう。
- *6 国司には中央貴族が派遣され、郡司はもとの国造^{くにのみやつこ}などの豪族が任じられた。
- *7 外交・軍事上の要地である西海道^{さいかいどう}を統括した。

遣唐使と平城京遷都  P.52-55

618年、隋に代わって唐が中国を統一し、都の長安(現、西安)は国際都市として栄えた。日本では630年から遣唐使^{*8}を派遣し、中国の制度や文化を日本に伝えた。一方、中国東北部に建国された渤海は、唐・新羅との対抗関係から727年に日本に使節を派遣し、以後、日本と友好的に通交した。

710年、元明天皇(女帝位707-715)は藤原京から平城京へと遷都した。平城京は長安にならって条坊制^{*9}を持ち、北部中央の平城宮には内裏(天皇の生活の場)、大極殿・朝堂院(政務・儀礼の場)、二官・八省などの官庁がおかれた。他、貴族・官人や庶民の住宅が建ち、大安寺、薬師寺、元興寺、興福寺、のちには東大寺・西大寺などの大寺院も建設された。

政府は708年に和同開珎^{*10}を鑄造し、その流通を目指して蓄銭叙位令^{*11}を出したが、京・畿内以外では物品による交易が中心のままであった。

蝦夷と呼ばれた東北地方の在地人とは、齊明天皇(女帝位 655-661)の時代に阿倍比羅夫が使われ朝廷との関係が結ばれたが、8世紀に政府は圧制を進め、陸奥国府となる多賀城を築いて蝦夷対策の拠点とした。

Notes

- *8 最初の遣唐使は犬上御田鎌であった。帰国後、聖武天皇に重用されて政界でも活躍した吉備真備や玄昉らもいた。
- *9 古代の都城の市街区画。日本では唐の長安にならい、朱雀大路をはさむ左右両京を南北に走る大路によって四坊に分け、東西に走る大路によって九条に分ける。平城京・平安京などに見られる。
- *10 その後、10世紀半ばの乾元大宝まで12回にわたり国家的に鑄造された銭貨を皇朝[本朝]十二銭という。
- *11 官人に対し、蓄銭の量に応じて官位を優遇する制度だが、逆に銭貨の流通を妨げたため800年に廃止された。

Study

2 奈良時代前半 (8世紀前期～中期)

今日の授業のポイント

藤原氏と皇族の政権争い 図 P.54

藤原不比等は娘の宮子を文武天皇(位697-707)に嫁がせ、その子の皇太子(のち聖武天皇(位724-74))にも娘の光明子を嫁がせて天皇家と密接な関係を築いた。不比等の死(720)後、皇族の長屋王*1が政権の座に就いたが、不比等の子の武智麻呂(南家)・房前(北家)・宇合(式家)・麻呂(京家)の4兄弟は729年に策謀によって長屋王を自殺させ(長屋王の変)、光明子を皇后*2に立てることに成功した。


737年に天然痘によって藤原4兄弟が相次いで病死すると、皇族出身の橘諸兄が政権をにぎり、唐から帰国した吉備真備と玄昉が活躍した。宇合の子の藤原広嗣は740年に彼らの排除を求めて乱を起こしたが鎮圧された(藤原広嗣の乱)。

聖武天皇は不穏な政治情勢や飢饉・疫病などを憂い、恭仁(740)・難波(744)・紫香楽(744)などに都を転々と移し、745年に平城京に戻った。聖武天皇は鎮護国家の思想によって国家の安定をはかろうとし、741年に国分寺建立の詔*3、ついで743年には近江紫香楽宮で大仏造立の詔*4を出した。

聖武天皇の娘の孝謙天皇(女帝位749-758;764年重祚して称徳天皇)の時代に、武智麻呂の子の仲麻呂が光明皇太后と結んで勢力を伸ばした。橘諸兄の子の奈良麻呂は仲麻呂を倒そうとして逆に滅ぼされた(橘奈良麻呂の変)。仲麻呂は淳仁天皇(位758-764)を擁立して即させると恵美押勝の名を賜り権力を独占した。

Notes

- *1 光明子の皇后冊立に反対していた。
- *2 皇后は律令では皇族であることが条件とされていた。
- *3 諸国に国分寺・国分尼寺を造らせた。正式には僧寺を金光明四天王護国之寺、尼寺を法華滅罪之寺といい、奈良の東大寺を総国分寺、法華寺を総国分尼寺とした。
- *4 752年に大仏の開眼供養の儀式が行われた。

土地制度の変遷  P.54

重い負担に耐えかねて逃亡する農民が増加し、人口増加で口分田くぶんでんが不足してきた。政府は開墾計画を立て、723年には三世一身法さんせいいつしんぽう*5を施行したが、効果が上がらず、743年には墾田永年私財法こんでんえいねんしざいほう*6を発し、開墾した田地の私有を永年にわたって認め、公地公民の原則は崩れ始めた。

貴族・寺院・地方豪族たちは私有地拡大を進めた。東大寺などの大寺院は、国司や郡司の協力のもとに付近の農民や浮浪人らを使用して大規模な開墾を進め、初期荘園しよきしやうえん*7が発生した。


Notes

- *5 未開地の開墾の場合は三世にわたり、荒地を再墾した場合には本人一代の田地の保有を認めるもの。
- *6 墾田の面積は身分に応じて制限されており、また、墾田は祖が収められるべき輪祖田ゆそでんであった。
- *7 貴族や社寺が自ら開墾した土地や買収した土地からなり、付近の農民を使って経営されたので、のちの寄進地系荘園きしんちけいしやうえんと対比して墾田地系荘園こんでんちけいしやうえんと呼ばれることがある。

Study

3 奈良時代後半（8世紀中期～後期）

今日の授業のポイント

国家仏教と天平文化  P.56-60

国史編纂事業の一環として、稗田阿礼が誦習していた帝紀(系譜)や旧辞(神話・伝説・歌謡物語など)を太安万侶が筆録した『古事記』が712年に、また、舎人親王らが撰した日本最初の勅撰の歴史書の『日本書紀』が720年に完成した。713年には諸国の地誌をまとめた『風土記*1』が編纂された。

貴族や官人には漢詩文*2の教養が必要とされ、751年に現存最古の漢詩集『懐風藻』が編まれた。また、和歌の分野では759年までの歌約4500首を収録した歌集の『万葉集*3』が成立し、中でも山上憶良が歌った「貧窮問答歌*4」は当時の農民の苦しみを率直に表現している。

奈良の大寺院では仏教理論の研究が進められ、南都六宗*5と呼ばれる学系が形成された。高名な僧には日本への航海にたびたび失敗しながらも日本に戒律を伝えた鑑真*6や、政府からの統制を受けながらも民衆に布教して社会事業を行った行基*7が知られる。また、神と仏を同一視する神仏習合思想もおこった。

建築では、礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。唐招提寺講堂、唐招提寺金堂、東大寺法華堂、正倉院宝庫*8などが代表である。

Notes

- *1 出雲・常陸・播磨・豊後・肥前の5か国のものが現存するが、完本は出雲国のみ。
- *2 8世紀半ばからの文人としては淡海三船や石上宅嗣らが知られている。
- *3 宮廷の歌人だけでなく東国の民衆たちがよんだ東歌や防人歌なども納められている。
- *4 反歌(長歌のあとに添える歌)の「世の中を憂しと恥しと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば」は有名。
- *5 三論・成実・法相・俱舎・華嚴・律の6宗を言う。うち、法相・華嚴・律は現存している。
- *6 日本の律宗の開祖。日本の学問僧の要請に応じ、5回の渡航失敗と失明にもかかわらず753年来日。東大寺大仏殿前に戒壇を設け、聖武上皇以下に授戒を行った。のち大和上の称号を贈られ、また唐招提寺のもとを築いた。
- *7 諸国をめくり、架橋・築堤など社会事業を行い、民衆を教化し行基菩薩と敬われた。その活動が僧尼令に反するとして弾圧されたが、やがて聖武天皇の帰依を受け、東大寺・国分寺の造営に尽力し、大僧正に任ぜられ、また大菩薩の号を賜った。
- *8 柱を用いず、壁面を断面が三角形の木材で井桁状に組んである校倉造で知られる。

彫刻では以前からの金堂像や木像の他に、**塑像**^{*9}や**乾漆像**^{*10}の技法が発達した。東大寺法華堂には乾漆像の**不空罽索観音像**を中心に**日光・月光菩薩像**、**執金剛神像**などが伝わっている。他に乾漆像では興福寺の**釈迦十大弟子像**や**八部衆像**^{*11}なども有名である。

絵画では**正倉院鳥毛立女屏風**^{*12}の**樹下美人図**、**薬師寺吉祥天像**が代表である。

工芸品としては、**正倉院宝物の螺鈿紫檀五絃琵琶**、**法隆寺百万塔**^{*13}とその内部に納められた**陀羅尼經**^{*14}が代表である。

僧侶の政治介入とその後 P. 54-55

光明皇太后の死(760)後、**孝謙太上天皇**^{*15}が僧の**道鏡**を寵愛して**淳仁天皇**と対立すると、764年に**惠美押勝**は道鏡を排除しようとする挙兵して逆に滅ぼされ(惠美押勝の乱 = 藤原仲麻呂の乱) 淳仁天皇は廃されて淡路に流され、孝謙太上天皇が**重祚**して**称徳天皇**(女帝位764-770)となった。道鏡は**称徳天皇**に推されて**法王**にまで上り詰め、皇位までをねらうが、769年に**宇佐八幡宮神託事件**^{*16}で挫折し、天皇の死(770)後に失脚した。

称徳天皇の後には、長く続いた**天武天皇**の皇統に代わって、**天智天皇**の孫である**光仁天皇**^{*17}(位770-781)が即位し、道鏡時代の**仏教政治**で混乱した**律令政治**と**国家財政**の再建が目指された。

Notes

- *9 木を芯として粘土を塗り固めたもの。
- *10 原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、あとで原型を抜き取るもの。
- *11 中でも**阿修羅像**は特に有名。
- *12 髪などに**羽毛**を貼り付けていたのでこの名がある。
- *13 木製3重の小さな**塔**(高さ21cm)で、**称徳天皇**が**惠美押勝**の乱平定後、戦死者の冥福を祈るために寄進されたもの。
- *14 世界最古の印刷物といわれている。
- *15 **太上天皇**は**讓位**後の天皇。上皇とも。
- *16 道鏡は**宇佐八幡宮**の神託と称して、道鏡が即位すれば天下泰平になると奏上させた。この神託を確かめるために派遣された**勅使**の**和気清麻呂**は先の神託が偽りであると報告した。激怒した道鏡は清麻呂の名前を「**別部穰麻呂**」と変えさせ、**大隈国**(現、**鹿児島**)に流した。
- *17 行財政の簡素化や公民の負担軽減などの政策を行った。

Review

1 律令体制の成立（7世紀末期～8世紀初期）

大宝律令の制定(701)

701年に__親王や藤原__らによって__が完成し、律令制度による政治の仕組みが整った。__は刑法、__は行政法・訴訟法などに相当する。

中央行政組織には__・__の二官があり、太政官のもとで__が政務を分担した。行政の運営は有力諸氏から任命された__・__・__・__などの太政官の__の合議によって進められた。

全国は__・__に行政区分され、__・__・__(のちに__と改称)がおかれて、__・__・__が任じられた。京には__・__職、難波には__職、九州北部には__がおかれ、多数の官吏が勤務した。官吏は位階に応じて官職に任じられ(____制)、位階・官職に応じて優遇されて負担は免除された。

__年ごとに作られる__にもとづいて__歳以上の男女に__を分け与え死ねば返させる__法が定められた。その一方で__(収穫した稲の3%)、__(成年男子に布で納めさせた)、__(地方の特産物)、__(国司のもとで年間60日以内の労働を行う)などの重い税や負担を課し、高利で稲を強制的に貸し付ける__も行われた。また九州の防備のための__という兵役もあった。

遣唐使と平城京遷都

618年、__に代わって__が中国を統一し、都の__(現、__)は国際都市として栄えた。日本では630年から__を派遣し、中国の制度や文化を日本に伝えた。一方、中国東北部に建国された__は、__・__との対抗関係から727年に日本に使節を派遣して日本と友好的に通交した。

710年、__天皇(天位707-715)は__京から__京へと遷都した。__京は__にならって__制を持ち、北部中央の__宮には__(天皇の生活の場)、__殿・__院(政務・儀礼の場)、二__・八__などの官庁がおかれた他、貴族・官人や庶民の住宅が建ち、大安寺、__、元興寺、興福寺、のちには東大寺・__などの大寺院も建設された。政府は708年に__を鑄造し、その流通を目指して__令を出したが、京・畿内以外では物品による交易が中心のままであった。

__と呼ばれた東北地方の在地人とは、__天皇(天位655-661)の時代に__が使われ朝廷との関係が結ばれたが、8世紀に政府は圧制を進め、__国府となる__城を築いて蝦夷対策の拠点とした。

Answers

刑部、不比等、大宝律令、律、令

神祇官、太政官、八省、太政大臣、左大臣、右大臣、大納言、公卿

畿内、七道、国、郡、里、郷、国司、郡司、里長、左、右京、摂津、大宰府、官位相当

6、戸籍、6、口分田、班田収授、租、庸、調、雑徭、出拳、防人

隋、唐、長安、西安、遣唐使、渤海、唐、新羅

元明、藤原、平城、平城、長安、条坊、平城、内裏、大極、朝堂、官、省、薬師寺、西大寺

和同開珞、蓄銭叙位 蝦夷、齊明、阿倍比羅夫、陸奥、多賀

Review

2 奈良時代前半 (8世紀前期～中期)

藤原氏と皇族の政権争い

藤原_____は娘の宮子を_____天皇(位697-707)に嫁がせ、その子の皇太子(のち_____天皇(位724-74))にも娘の_____を嫁がせて天皇家と密接な関係を築いた。_____の死(720)後、皇族の_____が政権の座に就いたが、_____の子の_____ (南家)・_____ (北家)・_____ (式家)・_____ (京家)の4兄弟は729年に策謀によって_____を自殺させ(_____の変)、_____を_____に立てることに成功した。

737年に天然痘によって藤原4兄弟が相次いで病死すると、皇族出身の_____が政権をにぎり、唐から帰国した_____と_____が活躍した。_____の子の_____は740年に彼らの排除を求めて乱を起こしたが鎮圧された(_____の乱)。

_____天皇は不穏な政治情勢や飢饉・疫病などを憂い、_____ (740)・_____ (744)・_____ (744)などに都を転々と移し、745年に平城京に戻った。_____天皇は_____の思想によって国家の安定をはかろうとし、741年に_____の_____、ついで743年には近江_____で_____の_____を出した。

_____天皇の娘の_____天皇(♀[※]位749-758; 764年重祚して_____天皇)の時代に、_____の子の_____が_____皇太后と結んで勢力を伸ばした。_____の子の_____は_____を倒そうとして逆に滅ぼされた(_____の変)。_____は_____天皇(位758-764)を擁立して即させると_____の名を賜り権力を独占した。

土地制度の変遷

重い負担に耐えかねて逃亡する農民が増加し、人口増加で_____が不足してきた。政府は開墾計画を立て、723年には_____法を施行したが、効果が上がらず、743年には_____法を発し、開墾した田地の私有を永年にわたって認め、公地公民の原則は崩れ始めた。

貴族・寺院・地方豪族たちは私有地拡大を進めた。東大寺などの大寺院は、国司や郡司の協力のもとに付近の農民や浮浪人らを使用して大規模な開墾を進め、初期_____が発生した。

Answers

不比等、文武、聖武、光明子、不比等、長屋王、不比等、武智麻呂、房前、宇合、麻呂、長屋王、長屋王、光明子、皇后

橘諸兄、吉備真備、玄昉、宇合、藤原広嗣、藤原広嗣

聖武、恭仁、難波、紫香楽、聖武、鎮護国家、国分寺建立、詔、紫香楽宮、大仏造立、詔

聖武、孝謙、称徳、武智麻呂、仲麻呂、光明、橘諸兄、奈良麻呂、仲麻呂、橘奈良麻呂、仲麻呂、淳仁、惠美押勝

口分田、三世一身、墾田永年私財 荘園

Review

3 奈良時代後半（8世紀中期～後期）

国家仏教と天平文化

国史編纂事業の一環として、_____が誦習していた____(系譜)や____(神話・伝説・歌謡物語など)を_____が筆録した『_____』が712年に、また、_____らが撰した日本最初の勅撰の歴史書の『_____』が720年に完成した。713年には諸国の地誌をまとめた『_____』が編纂された。

貴族や官人には_____の教養が必要とされ、751年に現存最古の漢詩集『_____』が編まれた。また、_____の分野では759年までの歌約4500首を収録した歌集の『_____』が成立し、中でも_____が歌った「_____」は当時の農民の苦しみを率直に表現している。

奈良の大寺院では仏教理論の研究が進められ、_____と呼ばれる学系が形成された。高名な僧には日本への航海にたびたび失敗しながらも日本に_____を伝えた____や、政府からの統制を受けながらも民衆に布教して社会事業を行った_____が知られる。また、神と仏を同一視する_____思想もおこった。

建築では、礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。_____寺講堂、_____寺金堂、_____寺法華堂、_____院宝庫などが代表である。

彫刻では以前からの金堂像や木像の他に、_____や_____の技法が発達した。東大寺法華堂には乾漆像の_____像を中心に塑像の_____・_____像、_____像などが伝わっている。他に乾漆像では興福寺の_____像や_____像なども有名である。

絵画では正倉院_____の樹下美人図、薬師寺_____像が代表である。

工芸品としては、正倉院宝物の_____琵琶、_____百万塔とその内部に納められた_____絛が代表である。

僧侶の政治介入とその後

_____皇太后の死(760)後、_____太上天皇が僧の_____を寵愛して_____天皇と対立すると、764年に_____は_____を排除しようと挙兵して逆に滅ぼされ(_____の乱 = 藤原_____の乱)、_____天皇は廃されて淡路に流され、_____太上天皇が重祚して_____天皇(女位764-770)となった。_____は_____天皇の推されて法王にまで上り詰め、皇位までをねらうが、769年に_____事件で挫折し、天皇の死(770)後に失脚した。

_____天皇の後には、長く続いた_____天皇の皇統に代わって、_____天皇の孫である_____天皇(位770-781)が即位し、道鏡時代の仏教政治で混乱した律令政治と国家財政の再建が目指された。

Answers

稗田阿礼、帝紀、旧辞、太安万侶、古事記、舎人親王、日本書紀、風土記
漢詩文、懷風藻、和歌、万葉集、山上憶良、貧窮問答歌
南都六宗、戒律、鑑真、行基、神仏習合 唐招提、唐招提、東大、正倉
塑像、乾漆像、不空羼索観音、日光、月光菩薩、執金剛神、釈迦十大弟子、八部衆
鳥毛立女屏風、吉祥天 螺鈿紫檀五絃、法隆寺、陀羅尼
光明、孝謙、道鏡、淳仁、恵美押勝、道鏡、恵美押勝、仲麻呂、淳仁、孝謙、称徳、道鏡、称徳、
宇佐八幡宮神託
称徳、天武、天智、光仁

MEMO



〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 サンエスビル 2F

TEL 03-5291-1820 FAX 03-5291-1821

<http://www.cel-eigo.com>